

自然科学研究機構国立天文台 特任研究員（年俸制職員、研究課題「なぜ宇宙再電離期にダストがあるのか：ALMA で探る宇宙の重元素合成史」）募集

【募集人員】 特任研究員 1名

【職務内容】

国立天文台チリ観測所では、日本国内の大学に在籍する研究者に ALMA を用いた科学研究を推進していただくため、「ALMA 共同科学研究事業」を設立しました。ALMA 共同科学研究事業については、以下を御覧ください。

https://researchers.alma-telescope.jp/j/support_programs/almagrant/

本事業に基づき、ALMA の観測データ（アーカイブを含む）を用いた研究課題「なぜ宇宙再電離期にダストがあるのか：ALMA で探る宇宙の重元素合成史」（平成 30 年 4 月 1 日開始）を推進する特任研究員を募集します。本研究課題の採択者である名古屋大学・田村准教授の指導の下、本特任研究員には勤務時間の 100% を用いて本研究課題を推進すると共に、ALMA プロポーザルも積極的に提出していただきます。研究成果として、年 1 編以上の投稿論文の出版と年 1 件以上の ALMA プロポーザルの提出に加え、本研究課題を推進する場合に限り、学生の研究等への指導・支援を行っていただきます。

【研究課題】

- 研究課題名：
（和名）なぜ宇宙再電離期にダストがあるのか：ALMA で探る宇宙の重元素合成史
（英語名）ALMA study of the cosmic history of metal enrichment: Why did such a large amount of dust exists in the epoch of reionization?
- 研究概要：
銀河宇宙がいつどのように重元素を獲得したかを理解することは、現代の天文学の最重要課題のひとつである。本研究では、つぎの 2 つの課題のいずれかまたは両方を推進し、宇宙再電離期を発端とした宇宙の重元素合成史や星形成史の理解を目指す。(1) 宇宙再電離期の星形成銀河のダスト連続波や原子輝線をアルマ望遠鏡で観測し、ダスト生成モデルやスペクトルエネルギー分布モデルをもとに「宇宙で最初のダスト生成」に制限をあたえる。(2) 高赤方偏移のサブミリ波銀河やキューサー等のサンプルに対してダスト連続波や原子・分子輝線等の観測を実施し、星形成活動や星間物質を精査することで、「宇宙最大のダスト貯蔵庫」の諸性質と生成機構を明らかにする。

【所属（勤務地）】名古屋大学大学院（愛知県名古屋市千種区）

※ 国立天文台で採用し、同日付で名古屋大学と国立天文台で在籍出向契約を結び当該大学へ出向していただきます。

【身分・待遇】

- ・ 給与は年俸制。月額 35 万円を毎月支給。
- ・ 通勤手当を支給（上限 55,000 円／月）
- ・ 健康保険（文部科学省共済組合）、年金（厚生年金）、雇用保険および労災保険に加入
- ・ ボーナス、退職金の支給はありません。

（出向時の勤務条件）

- ・ 週 5 日（月～金）裁量労働制勤務（土、日、祝日、年末年始は休日）
- ・ 有給休暇（年次有給休暇、夏季休暇、忌引他）あり

【雇用期間】 平成 30 年 12 月 1 日以降～平成 32 年 3 月 31 日

【契約期間】

- ・ 本研究課題は、平成30年4月1日の開始日から1年半経つ日までに中間審査が実施され、その結果、契約期間が1年間延長されることがあります。また、中間審査の結果、本研究課題が平成35年3月31日までの通算5年間の計画に延長されることがあります。それに伴い、契約期間の再延長が可能となり、1年毎に業績評価を実施した上で、契約期間の終了が平成35年3月31日までになることがあります。
- ・ ただし、平成 25 年 4 月 1 日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、平成 25 年 4 月 1 日以降の通算雇用期間が 10 年を超えないように契約期間が設定されます。
- ・ 採択者が他大学または他機関に異動された場合、一緒にその大学または他機関に異動していただくこととなりますが、異動先で本特任研究員を受け入れることができなかつた場合、就業場所を国立天文台（東京都三鷹市）として研究を継続していただくこととなります。

【応募資格】 関連分野で博士の学位を有するか、それと同等の研究能力を有する者。

【提出書類】

- ・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てを PDF に変換して、応募締切までにメール添付で下記アドレス宛にお送りください。

alma-grant-application_atmark_nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）

- ※ PDF 作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなり過ぎないようにしてください（メール一通につき最大 10MB 程度まで）。
- ※ 電子メールの応募を受領した場合、確認のため受領のメールを返送します。受領のメールが祝休日を除く 2 日以内に返送されない場合、上記アドレス宛にお問合せください。
- ※ メール の 件名（Subject）には、応募する研究課題名を明記してください。

- ・ 提出書類
 - (1) カバーレター（研究課題名を明記すること）
 - (2) CV
 - (3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は応募者の役割分担を記すこと）
 - (4) 主要論文 3 編以内の PDF ファイル
 - (5) 職務に対する抱負と計画
 - (6) 推薦書 2 通以上（推薦書は、推薦者が応募締切までに提出先に直接送ること）
 - (7) 速やかに連絡できる本人連絡先

- ・ 応募締切：平成 30 年 6 月 29 日(金) 日本時間 15:00 必着

【採用の決定】

国立天文台有期雇用職員等審査委員会での承認が必要となります。

【問合せ先】

- ・ 応募に関する問合せ：
国立天文台 事務部総務課人事係
E-mail: apply-qa_atmark_nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）
- ・ 研究内容に関わる問合せ：
名古屋大学大学院理学研究科 准教授 田村 陽一
E-mail: ytamura_atmark_a.phys.nagoya-u.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）
- ・ その他：
国立天文台 チリ観測所 ALMA 共同科学研究事業担当
E-mail: alma-grant-application_atmark_nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）

【その他】

- ・ 科学研究費等の外部資金獲得は可能ですが、研究課題に即した内容であるかどうかを国立天文台チリ観測所が判断した上で認められることとなります。
- ・ 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> を御覧ください。
- ・ 本事業で採用された特任研究員は、以後、国立天文台の特任研究員（プロジェクト研究員）への採用が制限されます。詳細はお問い合わせください。

以上